

2020年 カパティ フィリピンスタディツアー 旅程表

日程	活動内容	ワンポイント解説
2月21日(金)	出発:セブ島へ夜到着(フィリピン航空:PR431 & 2859便) 宿舎へ移動後、夕食、休息	成田から直行便で約4時間のフライトです。 便名:フィリピン航空 PR431 成田9:30発/マニラ13:40着 PR2859 マニラ16:00発/セブ17:30着
2月22日(土)	午前:カパティの奨学生たちによる歓迎会 スポンサーシッププログラムの紹介 午後:市内観光(サント・ニーニョ寺院、マゼランクロス、カルボンマーケットなど)、ダンピングサイト訪問(ゴミ山で暮らす人々)	・カパティが永年支援している現地ローデシュバリッシュ教会の奨学生制度について知ることができます。 市内観光を通して、フィリピンを身近に感じるきっかけづくりができます ・ゴミ山エリアで暮らすスカベンジャーの生活について知ることができます
2月23日(日)	終日、ホームステイ(スラム地域にて)	ホストファミリーと一緒に過ごし、フィリピンの人々の生活の一端を実体験することができます
2月24日(月)	午前:ホームステイ(続き)、ホストファミリーと学校訪問 午後:奨学生たちとの交流	ホストファミリーと一緒に過ごし、フィリピンの人々の生活の一端を実体験することができます
2月25日(火)	午前:ローデシュバリッシュの給食センター/ /プレイグループ(幼児向け学習支援)/ 理學・作業療法センター訪問 午後:マザーテレサのバシル地区の乳幼児施設の訪問	ローデシュバリッシュ教会のアクティブティを通して貧困エリアの支援の状況を知ります。各施設の訪問を通して、フィリピンの現状の一部を見ることができます
2月26日(水)	午前:マニラへ移動(フィリピン航空:PR1850便) 午後:宿舎でオリエンテーションと休憩	セブ10:50発/マニラ12:10着
2月27日(木)	午前:マザーテレサのトンド地区の死を待つ人の施設の訪問 午後:クヤセンター訪問:ストリートチルドレンの実生活の現場の訪問	・死を待つ人々の生活や障害児の生活の様子を知ることができます ・ストリートチルドレンの実情を知ることができます
2月28日(金)	終日:パンパンガ州訪問(ピナツボ火山被災エリア) 午前:カパティが支援するラーニングセンター(プレスクール)の訪問 午後:ナヨン・フィリビノ(フィリピンの歴史村)	・カパティが支援しているラーニングセンターで子どもたちの教育の様子を見ることができます ・フィリピンの歴史を
2月29日(土)	午前:バクロッド・タオ:災害・環境リスクマネジメントを行うNGO訪問 午後:サンチャゴ要塞、ホセ・リサル史料館、サン・アウグスチン教会訪問	・災害が多い国としてフィリピンにおける災害・環境リスクへの対応を知ることができます。 ・スペイン統治時代、カトリック教会文化を知ることができます
3月1日(日)	午前:フリータイム: 午後:バティスセンター:女性の人身売買被害者の支援NGOとの交流	・エンターテイメントビザで外国で働くフィリピン人女性が直面している問題を知ることができます
3月2日(月)	午前:モンタルバン:聖心会施設の訪問 午後:COSE(シニア層のコミュニティ)訪問 夜:お別れパーティ	・聖心会が取り組む保育事業、若者のリーダーシップ開発、母親の収入創出支援プログラムを学びます ・NGO COSEが支援するシニアコミュニティの人々の暮らしを知ることができます。
3月3日(火)	午前:11日間のリフレクション 午後:成田へ向けて出発(フィリピン航空:PR432)	PR432 マニラ14:50発/成田20:05着